

## 主題：パウロの書簡における真理の重要な項目

### ——コリント人への第一の手紙

#### メッセージ 1

すべてを含むキリストを召会の中のすべての問題の唯一の解決として  
享受する

聖書：I コリント 1:2, 9. エレミヤ 2:13. 哀 3:22-24

- I. コリント人への第一の手紙は、すべてを含むキリストを召会の中のすべての問題の唯一の解決として享受することについての書です——1:2, 9, 24, 30:
- A. わたしたちはみな、キリストの交わり、享受へと召されました（9節）。「交わり」という言葉は、享受という思想を含んでいます。キリストは、神によってわたしたちの享受のために、わたしたちに割り当てられた、わたしたちの分け前です（2節。コロサイ 1:12）。
  - B. コリント人への第一の手紙第1章における使徒パウロの意図は、コリントの聖徒たちの間の問題を解決することでした。すべての問題、特に分裂の問題に対する唯一の解決は、すべてを含むキリストを享受することです。
  - C. わたしたちは、キリスト以外の人、物、事にではなく、キリストに集中すべきです。わたしたちは、神によって割り当てられた、わたしたちの唯一の中心としてのキリストに焦点を合わせるべきです。それは信者の間にあるすべての問題が解決されるためです——1:9. コロサイ 1:17後半、18後半。
  - D. わたしたちの目標は、キリストを最も満ち満ちた程度にまで享受し、キリストを最も満ち満ちた程度にまで獲得して、キリストのからだを建造することです。この事は、わたしたちが千年王国の時代において、わたしたちの賞としてのキリストを最も満ち満ちた程度にまで享受するという結果となります——ピリピ 3:14. マタイ 25:21, 23。
  - E. わたしたちは「一つの事を思って」いる者たちである必要があります。ピリピ人への手紙における「一つの事」は、キリストの主観的な認識と経験と享受を指しています。一つの事とは、キリストを追い求め、彼を獲得し、彼を所有することです——2:2, 5; 1:20-21; 3:7-14; 4:13:
    - 1. わたしたちの思うことは、キリストを知る知識の卓越性と、キリストを経験し享受することに焦点を合わせるべきです。その他のものに焦点を合わせることは、わたしたちに異なる事を思わせて、こうして、わたしたちの間に異議を唱えることを生じさせるようになります——I コ

リント 1:10. ピリピ 3:8-9, 15. 4:2。

2. 一つの事以外の事を思うことは、神のエコノミーに反逆することです。神のエコノミーは、わたしたちが一つの事を思うことです。召会生活においてわたしたちは、すべての聖徒が一つの事を思うように助ける必要があります。わたしたちの思うことは、召会生活、からだの生活のために、キリストを享受することに焦点を合わせて、キリストを享受することで満たされているべきです。

II. コリント人への第一の手紙が啓示しているのは、主を享受する方法が、主を愛し（2:9-10. 16:22）、互いに愛し合うこと（13:1-8 前半）であるということです。主の回復は、有機的なキリストのからだを建造するために、初めの愛、最高の愛をもって主イエスを愛することの回復であり（啓示録 2:4. I ヨハネ 4:19）、互いに愛し合うことの回復です（エペソ 4:16）：

A. わたしたちが主を愛することは、必要不可欠な要求です。それは、わたしたちが、主の心の中へと入り込み、その秘密をすべて把握することができるようにし、神がわたしたちのために定め、備えてくださった深く隠された事柄を認識し、それにあずかることができるようにします——  
I コリント 2:9-10. マタイ 22:37-38. 詩 73:25. 116:1-2 :

1. 召会の墮落は、わたしたちが主に対する初めの愛を離れることから始まります。初めの愛、最上の愛をもって主を愛することは、万物のうちで首位、第一位を主に与えて、主の愛によって押し迫られて、主をわたしたちの生活のすべてと見え、すべてとすることです——啓 2:4-5. コロサイ 1:18 後半. II コリント 5:14-15. マルコ 12:30. 詩 73:25-26。

2. わたしたちが主イエスを信じた時に受け入れた命は、パーソンです。そして、このパーソンを適用し享受する唯一の道は、初めの愛をもって彼を愛することによってです。わたしたちの命としての主イエスはパーソンであるので、この瞬間に、また日ごとに、わたしたちは彼との新しい接触を持って、彼の現在の臨在を享受する必要があります——ヨハネ 11:25. 14:5-6. I テモテ 1:14. ヨハネ 14:21, 23. II コリント 5:14-15. 啓 2:4-7. コロサイ 1:18 後半. ローマ 6:4. 7:6. 詩歌 412 番。

3. わたしたちは、キリストの愛によって押し流され運び去られている人にならなければなりません。神聖な愛は、大水のようにわたしたちに押し寄せ、わたしたちを駆り立てて、彼に生き、彼を極みまで愛さざるを得ないようにさせるはずです——II コリント 5:14。

4. わたしたちは極みまで主を愛するために、わたしたちの命の日の限り、神の家に住んで彼の麗しさ（愛すべきこと、楽しさ、喜ばしさ）を見つめ、神の宮で神を尋ね求めることを願い、求める者たちとなる必要があります。神を尋ね求めることは、わたしたちの日常生活のあらゆる事について神に尋ねることです——詩 27:4. ローマ 8:6 後半. マラキ 2:15-16。

B. キリストの有機的なからだとしての召会の建造のために、わたしたちが何であっても、何を行なっても、愛が最も卓越した道です——I コリン

ト 12:31 後半—13:8 前半：

1. I コリント第 13 章においてパウロによって描写された愛は、神聖な命の表現です (4-8 節前半)。さらに、愛がその霊の実であるという事実は、愛の実質がその霊であるに違いないことを示しています (ガラテヤ 5:22)。もしわたしたちが愛を持っていないなら、わたしたちの語りかけは、命のない音を出す、鳴り響く鐘や騒がしいシンバルのようです (I コリント 13:1. 14:1, 3, 4 後半, 12, 31. II コリント 3:6)。
  2. 愛はねたまず、いらだたず、人の悪を数えためず、すべてを覆い、すべてを耐え忍び、すべてを耐え抜き、最も大いなるものです——I コリント 13:4-8, 13。
  3. 「知識は人を思い上がらせますが、愛は人を建造します」。わたしたちは務めのメッセージを聞いていても、単なる知識をもって思い上がっているかもしれません——I コリント 8:1 後半. 参照、II コリント 3:6。
  4. 命の霊の法則は、愛の法則としてのキリストの法則です——ローマ 8:2. ガラテヤ 6:2-3。
  5. 愛の法則がわたしたちの内側で活動するとき、わたしたちは自動的にまた自然に牧者となって、わたしたちの父なる神の愛し赦す心と、わたしたちの救い主キリストの牧養し捜し求める霊を持つようになります——ヨハネ 21:15-17. ルカ 15:3-7。
  6. 愛の法則がわたしたちの内側で活動するとき、主にあるわたしたちの労苦は愛の労苦となります (I コリント 15:58. I テサロニケ 1:3)。わたしたちはその中で「弱い人たちを支え」(使徒 20:35)、「弱い者を支え」ます (I テサロニケ 5:14)。「弱い人たち」は、彼らの霊、魂、体において弱い人たち、あるいは信仰の弱い人たちを指しています (ローマ 14:1. 15:1)。
  7. わたしたちが愛するキリストは、召会を愛するキリストです。わたしたちはキリストを愛するとき、キリストが愛するように召会を愛するようになります——エペソ 5:25。
  8. 召会生活は兄弟愛の生活です (I ヨハネ 4:7-8. II ヨハネ 5-6 節. ヨハネ 15:12, 17. 啓 3:7. エペソ 5:2. 参照、ユダ 12 節前半)。からだは愛の中でそれ自身を建て上げます (エペソ 4:16)。
  9. 神がわたしたちに与えた再生された霊は、愛の霊です。わたしたちは、今日の召会の墮落を征服するためには、燃える愛の霊を必要とします——II テモテ 1:7。
- C. わたしたちの互いに対する愛は、わたしたちがキリストのからだの一と、建造と、実際のために共にブレンディングされることの経験と享受の中へとますます入り込むときに、わたしたちにとって実際とされます——I コリント 12:14-27. ローマ 16:1-16. コロサイ 4:16. ヨハネ 12:24. レビ 2:4-5。
- Ⅲ. コリント人への第一の手紙が啓示していることは、神がわたしたちに、少

なくとも二十項目の豊富を持つすべてを含むキリストを与えてくださり、わたしたちの享受のための唯一の分としてくださったということです。クリスチャン生活と召会生活との秘訣は、わたしたちがキリストを享受することです——I コリント 1:9 :

- A. わたしたちは、キリストを神からわたしたちに与えられた分け前として享受する必要があります——2 節。
  - B. わたしたちは、キリストを神の力、また神の知恵（義と聖別と贖い）として享受する必要があります——24, 30 節。
  - C. わたしたちは、わたしたちの栄光化のために、キリストを栄光の主、さらには栄光の王として享受する必要があります——2:7-8. ローマ 8:30. 詩 24:6-10。
  - D. わたしたちは、キリストを神の深み（深い事柄）として享受する必要があります——I コリント 2:10。
  - E. わたしたちは、キリストを神の建物の唯一の土台として享受する必要があります——3:11。
  - F. わたしたちは、キリストをわたしたちの過越（5:7）、パン種のないパン（8 節）、霊的な食物、霊的な飲み物、霊的な岩（10:3-4）として享受する必要があります。
  - G. わたしたちは、キリストをかしら（11:3. コロサイ 2:19. エペソ 1:19-23）またからだ（I コリント 12:12, 24-25 前半. エペソ 4:15-16）として享受する必要があります。
  - H. わたしたちは、キリストを初穂（I コリント 15:20, 23）として、第二の人（47 節）として、わたしたちにとってすべてである命を与える霊となる最後のアダム（45 節）として享受する必要があります。
- IV. 神は、わたしたちをご自身の御子の交わりへと、ご自身の御子を享受することへと召すことにおいて信実です。しかし、わたしたちは多くのとき、神がわたしたちをご自身の意図へと召されることに対して不忠信です——1:9. エレミヤ 2:13. 哀 3:22-24 :
- A. 神のエコノミーにおける神の意図は、生ける水の源泉、源となって、ご自身をわたしたちの中へと分与し、わたしたちの満足、享受となることです。この享受の目標は、召会、神の配偶者を生み出して、それを神の増し加わり、神の拡大とし、神の豊満とならせて、彼を表現することです——ヨハネ 3:29-30. エペソ 3:16-19, 21。
  - B. 神を生ける水の源泉とする唯一の道は、日々、神から飲み、彼を流し出すことです。このために、わたしたちは絶えず主を呼び求める必要があります（歌い、感謝し、歓喜し、祈り、賛美することをもって、また神の救いのみわざ他の人に知らせることをもって）——詩 36:8-9. イザヤ 12:3-6. I コリント 12:13. ヨハネ 7:37-39. 4:10, 14. ローマ 10:12-13. I テサロニケ 5:16-18。
  - C. 神の民は神から飲むことによって神を享受するのではなく、かえって二

つの悪事を犯すことによって神に対して不忠信でした——「わたしの民は二つの悪事を犯したからである。彼らはわたし、この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ」——エレミヤ 2:13 :

1. 第一に、神の民は、自分たちの源泉であり、源であり、彼らの享受である神を捨てました。第二に、彼らは神以外の源に向きを変えました。その源は彼らを満足させることもできませんし、彼らを、神の豊満としての神の拡大とならせて神を表現させることもできません。
  2. 水ためを掘ることは、イスラエルが人の労苦によって苦しみ、何か(偶像)を作って神を置き換えることを描写しています。水ためが壊れて水をためることができないことが示しているのは、わたしたちの享受のための、生ける水としてわたしたちの中へと分与された神ご自身を離れて、何もわたしたちの渴きをいやすことも、わたしたちを神の増し加わりとならせて彼を表現させることもできないということです——ヨハネ 4:13-14。
- D. 悪しき者どもの邪悪な状態は、彼らが主に来て主を食べ、飲み、享受しないことです。彼らは多くの事を行ないますが、来て主に触れようとせず、彼を取ろうとせず、彼を受けようとせず、彼を味わおうとせず、彼を享受しようとしません。神の目に、これほど邪悪なことはありません——イザヤ 57:20. 参照、55:1-2, 6-7。
- E. わたしたちは不忠信ですが、神は信実です。しかし、神の信実は、わたしたちの天然の理解や観念にしたがったものではありません：
1. 神は、わたしたちの偶像を取り去ることで信実です。わたしたちの内側にある、主以上に愛するもの、あるいはわたしたちの生活の中で主に取って代わるものはすべて、偶像です——エゼキエル 14:3. I ヨハネ 5:21.
  2. わたしたちの環境の外側の平和、わたしたちの個人的な慰めまた安楽、わたしたちの所有物は、わたしたちにとって偶像となって、迷わせることがあります。しかし、神は、これらのものを取り除いて、そうしてわたしたちが生ける水の源泉としての神から飲むことができるようにしてくださることで信実です。
  3. 神は、わたしたちが困難を持つことを許されることにおいて信実です。それは、わたしたちが自分自身に信頼するのではなく、神に信頼するためです。そうして、神はわたしたちを神のエコノミーの中へと導きます。神のエコノミーとは、わたしたちがキリストを享受し、キリストを吸収し、キリストを飲み、キリストを食べ、キリストを消化して、神がわたしたちにおいて彼の増し加わりを得て、彼のエコノミーを完成することです——エレミヤ 17:7-8. II コリント 1:8-9. ヨハネ 16:33.
  4. 神は、わたしたちがキリストを享受すること以外に何も関心がありません。わたしたちは、自分の失敗のゆえに、望みがないと思うかもしれ

ません。しかし、神には、失望がありません。わたしたちの失敗は、キリストのためにただ道を開いて、彼が入って来て、わたしたちのすべてとなり、それによってキリストがわたしたちを円熟にもたすことができるようにします——ローマ 8:28-29. ヘブル 6:1 前半. 創 37:1 とフットノート 1. 47:7 とフットノート 1。

© 2023 *Living Stream Ministry*